



Basic & New

3-001RAU-00-01

日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ピュアライド UVプロテクト DFクリヤー
高意匠サイディングボード用超低汚染フッ素系外壁保護クリヤー

□ 特 長

- ・弱溶剤系であるため、臭気がマイルドで、下地を選ばずに塗装できます。
- ・乾燥が速く、作業性にすぐれています。
- ・デザイン性の高いサイディングボードの美しさをそのままに、さらに長持ちします。
- ・高耐久性に優れた2液形フッ素樹脂系塗料です。
- ・耐汚染性、耐紫外線性、耐薬品性にすぐれています。

□ 塗 料 性 状

		塗料液 (主剤)	硬化剤			
色		淡黄色		無色		
密度(g/cm³) (23℃)		0.93				
光沢		つや有り、3分つや有り				
引火点		43℃	44℃			
発火点		190℃ (参考値)	200℃ (参考値)			
消防法表示	化学名	合成樹脂クリヤー塗料		合成樹脂クリヤー塗料		
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)		第4類 第2石油類(非水溶性)		
	危険物等級	III (火気厳禁)		III (火気厳禁)		
有機溶剤区分		第3種		第3種		
毒劇物表示		—		—		
有害物表示		—		ポリイソシアネート		
ホルムアルデヒド放散等級	登録(認証)番号	2310004				
	区分表示	F☆☆☆☆				
問合せ先		http://www.nsk-web.org/				
国連指針番号		1263/128		1866/128		
環境性能	クロルリホス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	0.4%	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラヒカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイイソノン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノカルブ	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		48.6%				

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

□ 塗 装 基 準

- 混 合 剤 : 2液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤=4：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
荷 姿 : 15kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=12kg：3kg)、3kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=2.4kg：0.6kg)
ポットライフ : 6時間(23℃)
希 釈 剤 : 塗料用シンナーA
塗 装 方 法 :

塗 装 方 法	エアスプレー塗り	エアレススプレー塗り	はけ、ウールローラー塗り
希 釈 率	20～40%	5～10%	0～10%
使 用 量	0.12～0.14kg/m ² /回	0.12～0.14kg/m ² /回	0.12～0.14kg/m ² /回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾 燥 時 間 :

	5～10℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	1時間	30分	20分
塗 り 重 ね 乾 燥	4時間以上	4時間以上	3時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- ・光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ・つや調整品を使用する場合は上塗り1（中塗り）に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- ・吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
- ・経年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表層内劣化部からはく離するおそれがあります。試験施工をおこなって付着性を確認してください。
- ・つや調整品を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化（つや消し剤のため）を生じることがありますので、1回目の塗装時に表面に塗膜が残らないような場合はつや有りを増し塗り、もしくは2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- ・目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ・目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- ・塗装後は濡れ肌になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- ・仕上がりむらになりやすいため、ニッペカラーマックスFAや各種現場調色用着色剤を使用して調色することは避けてください。
- ・クリヤー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめでできません。ヘヤクラックなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることをいちおうの目安にしてください。
- ・下塗り材にエポキシ樹脂塗料（ニッペ浸透性シーラー（新）など）は使用しないでください。変色、はく離の可能性がります。
- ・本製品は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。開缶後の、マスカーなどでの封では不十分です。
- ・長期間の保管（6カ月以上）は避けてください。また、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、ファインウレタンU100やファインシリコンフレッシュIIで補修した後にクリヤーを塗装してください。補修用として1液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。縮む可能性があります。
- ・釘頭が出ている場合は1液ハイボンファイネンデクロ+ファインウレタンU100などを施した後クリヤーをかけてください。さび止め塗装した上にクリヤーをかけることは決してしないでください。
- ・水洗後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分である場合、クリヤー仕上げのためボードに残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. ※この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。